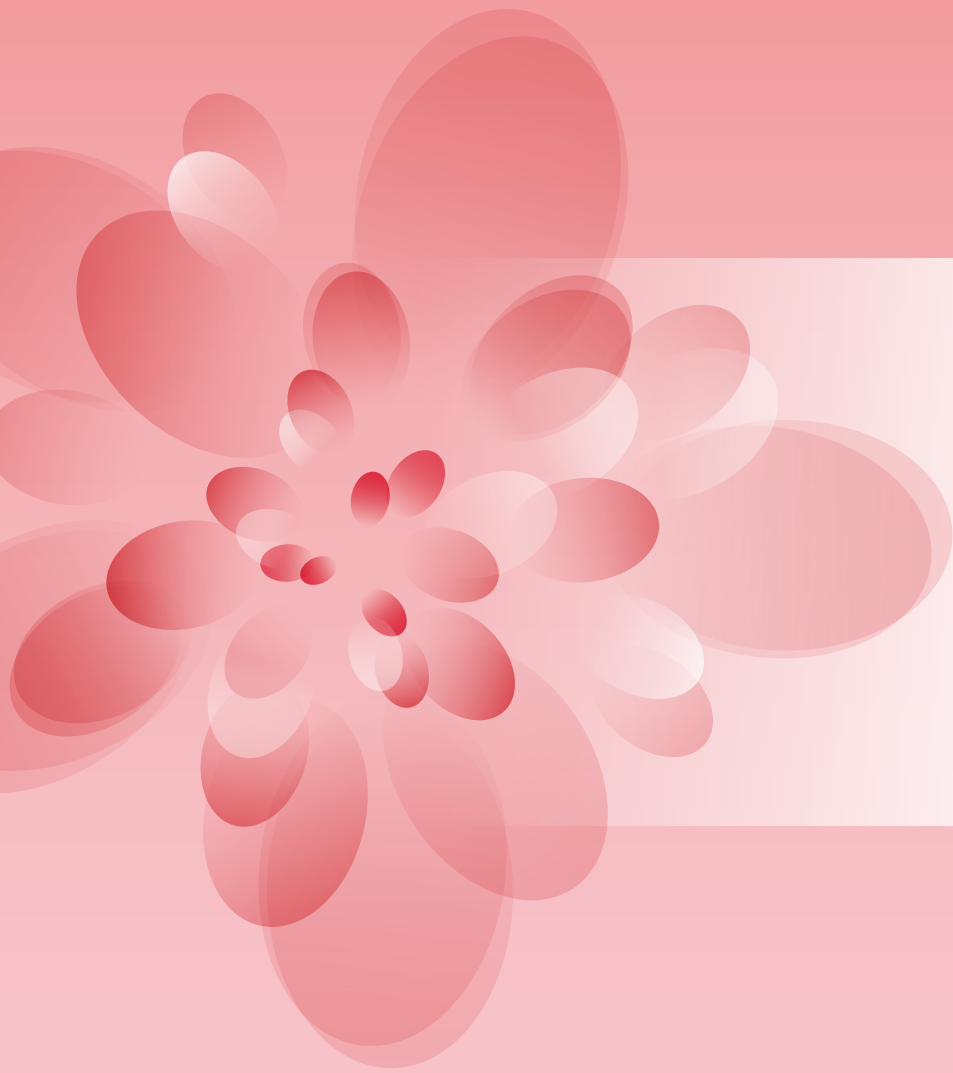


Okayama

Okayama Committee for
UNESCO World Conference on ESD
Official Report



VI

資料集

VI

1.ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会

設立時期

2013年1月28日

設立目的

「ESDに関するユネスコ世界会議」の一環として岡山市で開催される各種ステークホルダーによる主要な会合の開催を支援するとともに、岡山・香川地域の関係機関・団体等と連携及び協働しながら、世界会議やESDのPRを行うことにより、世界会議全体の成功に貢献していくことを目的とする。

事業

- (1) 国連機関、日本政府、関係地方公共団体、関係組織等との各種会合の開催支援に関する連絡調整
- (2) ESDウィーク・オープニングセレモニー及び各種会合の開催支援、各種会合参加者へのおもてなし、岡山地域の魅力発信等の企画及び実施
- (3) 世界会議やESDのPR
- (4) その他、実行委員会の目的を達成するために必要な事業



◆ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会 委員等名簿

(順不同、敬称略、H26.10.1)

役職名	団 体 名 ・ 職 名		氏 名
会 長	岡山市	市長	大森 雅夫
副会長	岡山E S D推進協議会	会長	青山 勳
	岡山大学	学長	森田 潔
	岡山県経済団体連絡協議会	座長	中島 博
	岡山県	副知事	足羽 憲治
	岡山市議会	議長	則武 宣弘
委 員	N P O法人 岡山県国際団体協議会	理事長	青山 勳
	岡山市国際交流協議会	会長	野津 喬
	岡山市連合町内会	会長	目黒 宏平
	岡山市連合婦人会	顧問	石尾 玲子
	大学コンソーシアム岡山	会長	高木 孝子
	(公社) 岡山青年会議所	理事長	鈴木 賢史
	内閣官房	内閣審議官	田中 繁広
	外務省	地球規模課題審議官	尾池 厚之
	文部科学省	国際統括官	加藤 重治
	環境省	総合環境政策局長	小林 正明
	岡山県市長会	会長 (玉野市長)	黒田 晋
	岡山県町村会	会長 (久米南町長)	河島 建一
	岡山市教育委員会	教育長	山脇 健
	(公社) おかやま観光コンベンション協会	会長	岡崎 彬
	(株) 岡山コンベンションセンター	代表取締役社長	藤原 隆昭
監 事	早島町	町長	中戸 哲生
	岡山商工会議所	専務理事	窪津 誠
顧 問	N P O法人 ハート・オブ・ゴールド	代表理事	有森 裕子
	(株) ベネッセホールディングス	最高顧問	福武 總一郎
参 与	内閣府	(団体として参画)	
	総務省		
	農林水産省		
	経済産業省		
	国土交通省		
	高松市		
	小豆島町		
	土庄町		
直島町			

◆ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会 幹事名簿

(順不同、敬称略、H26.10.1)

役職名	団 体 名 ・ 職 名		氏 名
幹 事	岡山大学	副学長	阿部 宏史
	岡山E S D推進協議会	事務局長	安田 充年
	岡山市国際交流協議会	事務局長	谷利 雅喜
	岡山県経済団体連絡協議会	事務局長	神崎 浩二
	(公社) おかやま観光コンベンション協会	事業部長	青山 昌史
	(株) 岡山コンベンションセンター	常務取締役	難波 巧
	岡山県	環境企画課長	古南 篤子
		観光コンベンション推進課長	橋本 哲哉
	岡山市	国際課長	谷利 雅喜
		環境保全課長	岡崎 泰治郎
		E S D世界会議推進局審議監	安田 充年
岡山市教育委員会	指導課長	堀井 博司	

2.岡山支援実行委員会規約等

ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、2014年秋に「ESDに関するユネスコ世界会議」(以下「世界会議」という。)の一環として岡山市で開催される各種ステークホルダーによる主要な会合(以下「各種会合」という。)の開催を支援するとともに、岡山・香川地域の関係機関・団体等と連携及び協働しながら、世界会議やESDのPRを行うことにより、世界会議全体の成功に貢献していくことを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国連機関、日本政府、関係地方公共団体、関係組織等との各種会合の開催支援に関する連絡調整
- (2) ESDウィーク・オープニングセレモニー及び各種会合の開催支援、各種会合参加者へのおもてなし、岡山地域の魅力発信等の企画及び実施
- (3) 世界会議やESDのPR
- (4) クロージングイベントの企画及び実施
- (5) その他、実行委員会の目的を達成するために必要な事業

(委員及び監事)

第4条 実行委員会に、委員及び監事を置く。

- 2 委員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 監事は若干名とし、委員会の同意を得て会長が選任する。
- 4 委員及び監事の任期は、実行委員会が解散するときまでとする。

(委員の職務)

第5条 委員は、委員会を構成し、第11条第5項に掲げる審議事項を決定する。

(監事の職務)

第6条 監事は、実行委員会の会計及び業務を監査する。

- 2 監事は、委員会に出席し、意見を述べることができる。



(役員)

第7条 実行委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 5名以内
- 2 会長は、委員の互選により定める。
- 3 副会長は、委員のうちから委員会の同意を得て会長が選任する。
- 4 会長及び副会長の任期は、実行委員会が解散するときまでとする。

(役員の仕事)

第8条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代理する。

(幹事)

第9条 実行委員会に幹事を置く。

- 2 幹事は、委員会の同意を得て会長が選任する。
- 3 幹事は、幹事会を構成する。

(顧問及び参加)

第10条 実行委員会に顧問及び参加を置くことができる。

- 2 顧問及び参加は、会長が選任する。
- 3 顧問は、必要に応じ、会長に助言をすることができる。
- 4 参加は、実行委員会に出席し、意見を述べるることができる
- 5 顧問及び参加の任期は、実行委員会が解散するときまでとする。

(委員会)

第11条 実行委員会に、委員会を置く。

- 2 委員会は、会長が招集する。
- 3 委員会の議長は、会長又は会長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 5 委員会の審議事項は、次に掲げる事項とする。
 - (1) 規約の改廃
 - (2) 事業計画及び事業報告
 - (3) 予算及び決算
 - (4) その他実行委員会の運営に関する重要事項
- 6 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 7 委員が、委員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わる
ことのできる委員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可
決する旨の委員会の決議があったものとみなすものとする。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(幹事会)

第12条 実行委員会に、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、委員会の審議事項等を整理する。
- 3 幹事会に幹事長及び幹事長代理を置き、会長が選任する。
- 4 幹事長は、幹事会を招集する。
- 5 幹事長は、幹事会の議長となり、会務を総理する。
- 6 幹事長代理は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 7 幹事長は、必要があると認めるときは、幹事会に幹事以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第13条 実行委員会の事務を処理するため、実行委員会に事務局を置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が定める。

(会計)

第14条 実行委員会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第15条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(監査)

第16条 監事は、実行委員会の決算について監査し、会議に報告しなければならない。

(解散)

第17条 実行委員会は、その目的が達成されたときに、解散する。

(委任)

第18条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規約は、平成25年 1 月28日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年 4 月25日から施行する。



(別表)

役職名	団体名・職名	
委員	岡山ESD推進協議会	会長
	NPO法人岡山県国際団体協議会	理事長
	岡山市国際交流協議会	会長
	岡山市連合町内会	会長
	岡山市連合婦人会	顧問
	大学コンソーシアム岡山	会長
	岡山大学	学長
	岡山県経済団体連絡協議会	座長
	(公社)岡山青年会議所	理事長
	内閣官房	内閣審議官
	外務省	地球規模課題審議官
	文部科学省	国際統括官
	環境省	総合環境政策局長
	岡山県	副知事
	岡山県市長会	会長
	岡山県町村会	会長
	岡山市	市長
	岡山市議会	議長
	岡山市教育委員会	教育長
	(公社)おかやま観光コンベンション協会	会長
(株)岡山コンベンションセンター	代表取締役社長	

ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会会計規則

(趣旨)

第1条 ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会(以下「実行委員会」という。)の会計事務については、この規則に定めるところによる。

(事務処理の委任)

第2条 ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会長(以下「会長」という。)は、会計事務を事務局長に行わせることができる。

(現金領収)

- 第3条 事務局長は、現金を領収したときは領収書(様式第1号)を納入者に交付しなければならない。
- 2 前項の場合において、事務局長は、領収した現金の金額、内容等を現金出納簿(様式第2号)に記載して整理するとともに、領収した現金は速やかに事務局長名義の普通預金口座に払い込まなければならない。
 - 3 前2項の規定にかかわらず、協賛金の取扱については、会長が別に定める。

(収入整理簿)

第4条 事務局長は、前条第2項の現金出納簿の外、一切の収入を収支予算整理簿(様式第3号)に記載して整理しなければならない。

(支出負担行為の権限等)

第5条 支出負担行為を行うに当たっては見積書を債権者から受領するものとする。ただし、次に掲げる経費の支出に当たっては、見積書の受領を省略することができる。

- (1) 緊急を要する場合等において、当初の支出負担行為から変更する必要が生じたもの
- (2) その他事務局長が適当と認めるもの

(契約の方法)

第6条 実行委員会の業務に係る契約に関しては、岡山市の例による。ただし、これによりがたいときは、会長が別に定める。

(経費の支出)

- 第7条 経費の支出は、現金又は口座振替により行うものとする。
- 2 事務局長は、経費の支出に当たっては、請求書及び領収書を債権者から受領し、第5条の見積書とあわせて収支予算整理簿に整理しなければならない。ただし、口座振替による経費の支出に当たっては、領収書を、また、次に掲げる経費の支出に当たっては、請求書の受領等を省略することができる。



- (1) 謝礼
- (2) 旅費
- (3) 印紙、証紙、郵便切手、郵便葉書、その他これに類するもの
- (4) 官公署、公社、公団等が発行した納入通知書によるもの
- (5) その他事務局長が適当と認めるもの

3 第5条及び前2項に定めるもののほか、実行委員会の経費の支出に関する事項は、岡山市の例による。

(旅費)

第8条 委員、監事、顧問、参与及び実行委員会から依頼を受けた者が会務のために旅行したときは旅費を支給することができる。

- 2 前項の規定により支給する旅費については、岡山市職員の例による。
- 3 前2項の規定に関わらず、委員、監事、顧問又は参与が実行委員会規約第11条に定める委員会又は同規約第12条に定める幹事会に出席する場合、旅費は支給しない。

(現金の保管)

第9条 事務局長は、即日支払いによらなければならない経費の支出のために、必要最低限度の額の現金を保有することができる。

- 2 前項の現金の保管については、紛失又は盗難を防止するために必要な措置を講じなければならない。
- 3 現金の保管及び出納については、第3条第2項の現金出納簿に必要事項を記載して整理しなければならない。

(決算書及び関係書類の提出)

第10条 事務局長は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に収入支出決算書を作成し、証拠書類を添付し、会長に提出しなければならない。

- 2 会長は、前項の規定による決算関係書類の提出を受けたときは、監事の監査を受けなければならない。
- 3 前項の場合において、監事が必要と認めるときは、会長に関係書類の提出を求めることができる。
- 4 前2項に定めるものの外、監事は必要に応じ会計事務において検査を行うことができる。

(その他)

第11条 この規則に定めるもののほか、会計事務に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

様式第1号 (第3条関係)

No. _____

領 収 書

平成 年 月 日

____ 圓

金 額	千	百	十	百	十	百	十	百	十	百	十
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

直し

上記の金額を確かに領収いたしました。

岡山市北区大快一丁目1番1号
E60に関するユニネスロ世界会議
岡山支援実行委員会
会長 〇

領収書

様式第2号 (第3条関係)

現 金 出 納 簿

収支年月日	収入金額	引当金額	差引残高	備 考	況 様	
					事務経費	雑 費

現金出納簿

様式第3号 (第4条関係)

収 支 予 算 整 理 簿

【 収 入 】

日付	科目	内容	収入金額	備 考

【 支 出 】

日付	科目	内容	支出員別 行高額	支出総額	差引予算 残高	備 考

収支予算整理簿



ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会事務局規則

(趣旨)

第1条 この規則は、ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会規約第13条に規定する事務局（以下「事務局」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事務局の所在地)

第2条 事務局は、岡山市ESD世界会議推進局に置く。

(事務局の構成員)

第3条 事務局に事務局長、事務局次長及び事務局員を置く。

- 2 事務局長は、岡山市ESD世界会議推進局長をもって充てる。
- 3 事務局次長は、岡山市ESD世界会議推進局ESD推進担当課長をもって充てる。
- 4 事務局員は、岡山市ESD世界会議推進局職員をもって充てる。

(職務)

第4条 事務局長は、ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会会長（以下「会長」という。）の命を受け、事務局を代表し、事務局の事務を統括する。

- 2 事務局次長は、上司の命を受け、事務局長を補佐し、所属職員を指揮監督する。
- 3 事務局職員は、上司の命を受け、事務に従事する。

(会長の決裁事項)

第5条 ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会（以下「実行委員会」という。）運営の基本方針に関することについては、会長の決裁を要するものとする。

(専決事項)

第6条 次の事項（前条に掲げる事項を除く。）は、事務局長がこれを専決することができる。

- (1) 実行委員会の運営に関する諸規定の制定・改廃に関すること。
 - (2) 実行委員会及び幹事会の開催及び運営事務に関すること。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、会長名をもってする事項
 - (4) 岡山市事務決裁規程（平成4年市訓令甲第4号）別表に掲げる事務で、決裁区分が市長、副市長、理事、局長及び審議監とされるもの
- 2 岡山市事務決裁規程別表に掲げる事務で、決裁区分が課長とされるものは事務局次長がこれを専決できる。

(代 決)

第7条 決裁者が不在のとき又は欠けたときは、次に掲げる者が、その事務を代決するものとする。

決裁者	代決者
事務局長	事務局次長
事務局次長	岡山市E S D世界会議推進局担当課長補佐

(文書の扱い)

第8条 文書の取扱いについては、岡山市文書取扱規程(平成15年市訓令甲第21号)の例による。

(公 印)

第9条 会長及び事務局長の公印は別表のとおりとする。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、事務局の運営に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

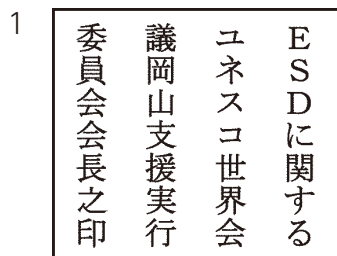
この規則は、平成25年 4 月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

別 表(第9条関係)

ひな形番号	公印の名称	書体	寸法 (ミリメートル)	使用区分
1	会長印	てん書	方 23	会長名で発する文書
2	事務局長印	てん書	直径 19	事務局長名で発する文書





3.岡山支援実行委員会本部体制

会議期間中は、会議主催者や、会議運営会社等と綿密に連携を行い、現場での突発的な問題に対応する必要があるため、岡山コンベンションセンター3階に本部を設けた。

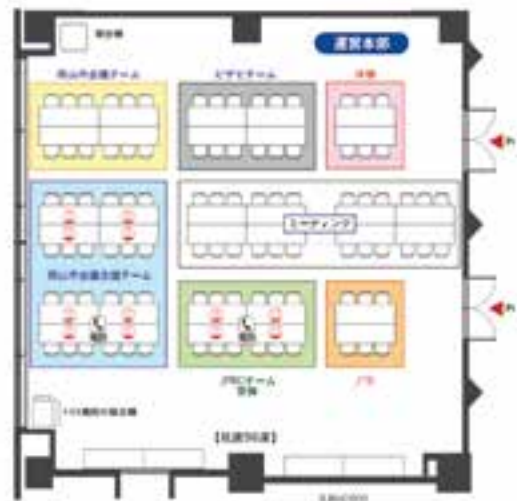
会議主催者・会議運営会社と同じ部屋に本部を設け、会期中は、始業・終業時に全体ミーティングを行い、情報共有を図った。

本部内には、岡山支援実行委員会事務局スタッフのほか、支援業務運営会社スタッフが常駐した。事務局スタッフには、携帯電話と無線機を併用し連携を図った。

運営本部(10月)

開設時間	10月8日 午後～10月11日 17:00頃
本部常駐者	事務局 2～3名 支援業務運営会社 12名 ※警備責任者含む 宿泊・登録 (JTBGMT、JTB 岡山支店)

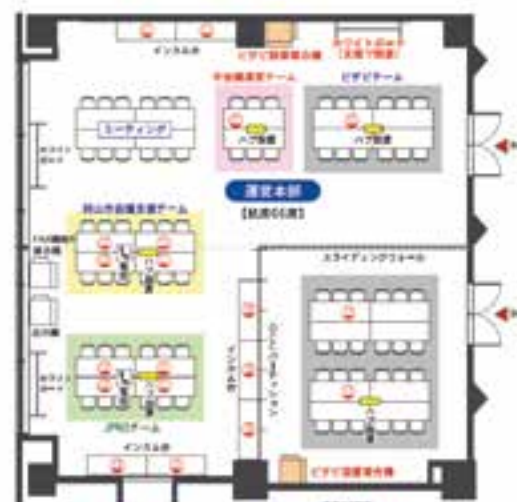
レイアウト図



運営本部(11月)

開設時間	11月4日 午後～11月8日 21:00頃
本部常駐者	事務局 2～3名 支援業務運営会社 12名 ※警備責任者含む 宿泊・登録 (JTBGMT、JTB 岡山支店)

レイアウト図



VI

4.IDカード

セキュリティ上の観点から、会議場への入場はIDカードの携帯を必須とした。また、岡山支援実行委員会主催のオープニングセレモニーでの誘導において、会議ごとの識別ができるようにデザインした。

10月

参加者識別証



招聘者(発表者、ファミリ)・
来賓

一般参加者(公民館)

特別分科会参加者
(名前なし)

ESD推進のための公民館-CLC国際会議



聴講者

特別分科会評価委員

特別分科会スタッフ

出演者

スタッフ識別証



プレス

スタッフ

メディカルスタッフ

ボランティアスタッフ



11月

参加者識別証

第9回グローバルRCE会議



ユネスコESDユース・コンファレンス



ユネスコスクール世界大会



スタッフ識別証



プレス



スタッフ



メディカルスタッフ



ボランティアスタッフ

5.主な新聞記事

平成25年1月29日
山陽新聞

14年秋のユネスコ世界会議

ESDさらに推進 岡山支援実行委を設立

2014年秋に岡山市内で開催される「持続可能な教育(ESD)」に関するユネスコ世界会議」の参加者受け入れなど受援態勢を検討する岡山支援実行委員会

委員15人(代理を含む)をはじめ、岡、市中島博島経済団体連絡会の関係者ら約50人が出席。会長、副会長、副会長の5人を選んだ。高谷市長は「全力で成功に導き、ESDに岡山協賛をさらに推進させよう」と述べた。

今後、世界会議の開催式と歓迎会の中身や、市内で開催される5つの公式行事会場へのバス運行といった参加者の輸送態勢などを検討。開催支援計画として今秋をめどに取りまとめる。(藤田勝久)



「ESD」PR
フラッグ登場
桃太郎大通りなど
岡山市での2014年
秋に開かれる「持続可



桃太郎大通りに掲
示されたフラッグ

能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」を宣伝するフラッグ打放の日、市中心部に登場した。

桃太郎大通り、JR岡山駅東西連絡路、同駅西口リフトンデッキの2箇所に取付けた。市内で講演会やワークショップなどを繰り広げる「おかやまESDウィーク2013」(28日、12月10日)とともに盛り上げるために設置した。

フラッグは緑色を基調とし、2014年秋、調として、サイズは3

岡山で開催！ ESD 種類(縦1・1・8、横0・5・0・6)と、自分の開設する。

当分の間設置する。(山井香葉子)

平成25年9月12日
山陽新聞



ESDウィークあす開幕

12月10日まで103催し

来秋の世界会議盛り上げ

来秋に「持続可能な」(市、岡山ESD推進開発のための教育(ESD)協働会主催)が始まる。SD)に関するユネスコ 12月10日までの期間「世界会議」の開催を、各地で103のイベントを開催する。28日、JR岡山駅前のターミナルスクエアビル(北改駅元町)を「ESD」の文字で彩る。午後6時〜11時、10月31日まで点灯する。

世界会議に向けたプレ会議として、同18日の「ESDの10年・地球市民会議」は元国連大学長ハンス・ファン・ヒンケル氏の基調講演など、翌19日の「ESDテーマ会議」は気候変動に関する教育など5テーマで分科会を開く。いずれも岡山コンベンションセンター(同所)で開く。

同日は同駅東口広場などで「おかやまESDオータムフェスタ」を開催。竹灯籠作り、カフェ経営者や環境保全団体の代表ら女性4人によるトークセッションなどがある。

同ウィークは2009年度から毎年実施。問い合わせは市ESD世界会議推進局(086-3-13254)。(河内慎太郎)

行事名	開催日時と会場	主な内容
ESDの10年・地球市民会議	10月18日午前10時〜午後5時半 岡山コンベンションセンター (250人)	元国連大学長らの基調講演やESDを広めるための課題に関する分科会など
ESDテーマ会議	10月19日午前9時半〜午後4時半 岡山コンベンションセンター (250人)	防災と気候変動に関する教育など5テーマでの分科会
おかやまESDオータムフェスタ	10月19日午前10時〜午後5時 JR岡山駅東口広場、リットンビル2階ひがりの広場	竹灯籠作りやフリーマーケット、カフェ経営者ら女性4人によるトークセッションなど
「岡山山山サミット」と岡山音楽祭	11月9日午前10時〜午後2時半 就実・森の学校	登山活動の報告や音楽会など
C・W・ニコルさんの講演会	12月8日午前11時から午後2時 からの2回 岡山コンベンションセンター (各750人)	ニコルさんが「地球にやあ」と題して話す

※かっこ内は定員で申し込みが必要

平成25年9月27日
山陽新聞

支援ボランティア募集

男女両人を募集中

ESD世界会議

岡山市は、ユネスコの「持続可能な開発のための教育」(ESD)世界会議を1年後に控え、会議などの支援ボランティアを募集している。

来月10〜11月の会議には約160カ国の政府機関やNGOなど、延べ約3千人の参加を見込んでいる。

支援ボランティアは、会場までの案内や受け付け、歓迎会や視察旅行での通訳などを担当する。応募資格は、来月4月1日現在で18歳以上(高校生を除く)の男女で、約200人、初級〜上級レベルの英語力を必要とする内容もある。国籍は問わない。

応募は12月20日締め切り(必着)。応募用紙を(HIT PC) http://www.city.okayama.jp/esd/esd_00055.htm のダウンロードして、メールかファクス、郵送する。

また市は情報サイト「おかやまESDナビ」(<http://www.okayama-city.jp/esd/>)のテーマセッションも募る。ESDを連携させる「地球」「つながり」「絆」「未来」などの言葉が入った2〜3分のオリジナル曲で、音楽投稿コミュニティサイト「クレオファガ」(<http://creofaga.net/>)からエントリーする。応募は12月6日〜1月6日。詳しくはESD世界会議推進局(086-3-13254)。

平成25年11月28日
朝日新聞

平成26年2月1日
山陽新聞

ジャンパーとピンバッジ
ESDアピール
市、着用呼び掛け

岡山市は、10、11月、

に市内で贈られる「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関するユネスコ世界会議」をPRするジャンパーとピンバッジを作った。市内のESD活動団体の関係者や市議員らに着用を呼び掛ける。

ESDをPRするジャンパー

ジャンパーはネイビーでナイロン製。胸に市のシンボルキャラクター「ミコロ」「ハコ」が地球を手にしたイラストと世界会議の英文字をプリント。背中には反時計回り「ESD」の文字を入ったピンバッジが5千個作っており、市民向けイベントなどで配布する予定。（河内慎太郎）

ピンバッジ
中には反時計回り「ESD」の文字をあしらった。市ESD世界会議推進局職員清水美佐さんの手がデザインした。

平成26年4月4日
山陽新聞

本書に向けて準備状況を確認した委員ら

今秋の「ESD世界大会」
本番へ準備状況確認
支援実行委

今年秋に岡山市内で開かれる「ESD（持続可能な開発のための教育）に関するユネスコ世界会議」で、参加者の受け入れなどに当たる岡山支援実行委員会（会長・大森雅夫市長）は3日、2014年度の初会合を市役所で開き、本番に向けた準備状況を確認した。

委員21人のうち18人が出席。県内外の参加者が県内のESD実践活動を観察するツアーや歓迎パーティーの開催、グッズの製作・配布による市民へのPR活動などを盛り込んだ14年度事業計画を決めた。

大森市長は「会議まで半年に迫った。開催機運を高め、成功に向けて万全を期したい」とあいさつ。委員からはESDに対する市民の認知度が低いとして、地域行事での積極的な広報活動を求める意見などが出た。

実行委は外務、文部科学、環境省の担当官、県内の大学や経済団体の代表らで組織。8月の次回会合で、事業計画に盛り込んだ取り組みの詳細を決める予定。（大島悠）



世界会議半年前イベント 笑顔の絶えない世界に 市民がメッセージ

11月に
披露



今年に岡山市内で開かれる「ESD（持続可能な開発のための教育）に関するユネスコ世界会議」の半年前イベント「ガイ・日、北区赤野の石井公園」であり、希望する未来の地球を市民らが紙に記すプロジェクト「未来へのメッセージ」が披露された。

市民の日のメインイベント「笑顔のおかやまマルシェ」に合わせ、ESD「考えよう地球の未来」をテーマに、市民の笑顔の目的とした市民の日の取り組みが盛り込まれた。市民の日の目的は、ESD「考えよう地球の未来」をテーマに、市民の笑顔の目的とした市民の日の取り組みが盛り込まれた。

メッセージは、10月、100年後の地球の未来を想った市民の笑顔の目的とした市民の日の取り組みが盛り込まれた。

ESD 考えよう地球の未来

用紙に来場者がそれぞれの思いを書き込んだ。岡山南高2年大村佳奈さん（16）は「笑顔の絶えない世界になってほしい」と書いた」と説明した。

メッセージを書いた紙を手にした市民らの写真も撮影。モザイクアートにし、11月6日にある世界会議のオープニングセレモニーで披露する。

市は本庁や区役所、公民館などにも用紙と回収ボックスを設置し、メッセージを受け付けている。今後開く世界会議のPRイベント会場でも協力と呼び掛ける。問い合わせは市ESD世界会議事務局（803-1000）（平松 隆）

平成26年6月3日
山陽新聞

笑顔でおもてなしを

10、11月に岡山市で開かれる「ESD（持続可能な開発のための教育）に関するユネスコ世界会議」で、出席者の誘導や通訳補助などに当たるボランティアの研修会（市などで行く支援実行委主催）が13、14日、北区春日町の市勤労者福祉センターで始まった。2日間で約240人が参加し、ボランティアの心得や国際的なマナーを学んだ。（高下 修）

笑顔でおもてなしを

ボランティアは昨年11月、助成金を活用し、国内外12月に開催予定などが公表された。市は、市民のボランティアを募集し、土曜日は会場受付の通訳補助や通訳補助、エクスカーション（研修旅行）での通訳補助などを行う。

研修会 心得やマナー学ぶ

研修会は2日と7月13日と14日、出席者が集合の長い方に参加した。14日は約180人が参加し、国際マナー研究家の佐藤真子さんが「国際マナーが「国際マナー」を世界をつなぐ役割を担う」と説明し、外国人と接する際、常に笑顔で対応する「必ず笑顔で合わせる。相手の背徳から目を離さない」といったポイントを挙げ、マナーが「あったと感も感じない」という国際マナーを身につけていなければならない」とアドバイスした。

開会や挨拶、エスコートの仕方の実演指導もあった。中区赤野の吉田節代さんは「基本的なマナーが分かり、自信が持った。岡山に良い印象を持ってもらえるように笑顔で対応したい」と話していた。

研修会は、10月にも開かれる。

平成26年6月15日
山陽新聞

平成26年6月21日
山陽新聞



ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース

平成26年9月2日
山陽新聞



ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース
ESD活動を紹介するパネルなどが並ぶショーケース

「ESD推進のための公民館—CLC国際会議」では、地域での学びモデーマに専念が交わされた—北区船元町の岡山コンベンションセンターで

ESD世界会議始まる

教育関係者 30カ国 講演や議論など

北 区

世界各国の教育関係者が集まりESD（持続可能な開発のための教育）について議論する「ESDに関するユネスコ世界会議」が10月10日、北区で始まった。来月までの会期中、岡山で5つの会議がある。この日は最初の行幕となる「ESD推進のための公民館—CLC国際会議」が、北区船元町の岡山コンベンションセンターで開かれ、地域での学びモデーマに無償講演やパネルディスカッションが盛んに行われた。

無償講演では、地域（くに）における地域に根ざした学びの役割と、持続可能な開発目標（SDGs）との関係について、オランダ・ワグeningen大学のアイエン・ワールス教授が、「太陽光パネルや排水の再利用システムが、公共交通機関も利用しやすくなり、住民が知恵を出し合っただけで持続可能なまちづくりをした」と紹介し、「専門分野の垣根を超え、広い視野で学ぶことが重要」と訴えた。インドネシアや日本の教育関係者も講演を交えて議論を展開した。大森豊天市長も出席し、「持続可能な未来をひらく会議に、国際的なESDの推進に貢献したい」とあいさつした。

会議には、約30カ国から600人が参加。会場はさまざまな国の出席者でにぎわい、日本語と英語の同時通訳や字幕を使って導かれた。12日まで続く、分科会や市内の公民館の視察が予定されている。

平成26年10月10日
毎日新聞

「ESD継続 前進させる」

Kominkan-CLC INTERNATIONAL CONFERENCE ON ESD

国際会議の後参加者がコメントを録音した—岡山市北区

来月の世界会議を控え 岡山で公民館国際会議

岡山市と名古瀬市で11日、世界会議が開かれるのに先立ち、ESD（持続可能な開発のための教育）に関する「公民館—CLC国際会議」が、岡山コンベンションセンターで開かれた。

「ESD（持続可能な開発のための教育）の10年計画」が決定された。岡山市と名古瀬市で11日、世界会議が開かれるのに先立ち、ESD（持続可能な開発のための教育）に関する「公民館—CLC国際会議」が、岡山コンベンションセンターで開かれた。

「ESD（持続可能な開発のための教育）の10年計画」が決定された。岡山市と名古瀬市で11日、世界会議が開かれるのに先立ち、ESD（持続可能な開発のための教育）に関する「公民館—CLC国際会議」が、岡山コンベンションセンターで開かれた。

平成26年10月12日
産経新聞

ESD会議 「つながり」訴え 携帯活用 高校生が提案

岡山市内で開催されている「持続可能な開発のための教育」(ESD)に関するユネスコ世界会議の一つ、「高校生フォーラム」は7日、国内外の高校生がESD推進のための取り組みや提案を披露した。県内の高校生も、携帯電話やSNS(交流サイト)を活用して英語で意見を述べた。

海外から約200人の参加者。県内からは岡山一高、和気南高、林野、矢野の4高校の4人によるチームが参加した。

生徒たちは発表の中で「8月に起きた広島の土砂災害では、携帯を使ってSNSから家族と連絡が保たれ、多くの人がボランティ

アに参加した」と例示し、「これから重要なのは武力ではなく、人と人とのつながり。携帯は国や地域を超えて人を結びつける力を持っている」と訴えた。和気南高高2年の長岡梨香さんは「最後の場面では手がわ

き上がり、感動まったことだ。神戸、大阪の高校生チームは「過去との対話を通じて考えた未来」をテーマに発表。両親や親友から高校生だったころに懐かしい「社会の未来像」を聞き取り、それを手がかりに現在と比較しながら社会の行く先を語った。

大阪府立佐野高2年の本田梨香さんはこの意図を、「1人で携帯電話を切り離し

た祖母の加代さんに聞き取りをしてきた。その加代さんは7月、74歳で癌を引き取った。祖母との思い出を胸に導いた本田さんは「祖母も含めたみんなが、多くの人に受け継がれて生きてきたのがわかった。これからは自分ごとで大切なことは何かを考えて生きていきたい」と語った。

岡フォーラムでは7日に高校生らが英語文をまとめた。この日は、岡山である一連の会議全体の閉幕式典もあった。岡山の子どもたちが「ユネスコの公式ソング(Peace of mind)」を歌い、会場から拍手を浴びた。作詞・作曲者、ユネスコ平和賞受賞者の坂内ミサキさんは「自分のいる場所の誇りがあせり(満足)ではない」と話した。

(後掲)岡田 宣雄、岡田 和

平成26年11月7日
朝日新聞

平成26年11月7日
山陽新聞

グローバル会議最終日 RCE宣言採択

岡山市で開催中の「ESD(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議」は7日、ESDの地域推進拠点(RCE)の創作者が議論する「グローバルRCE会議」が最終日を迎え、国連提唱の「ESDの10年」(2005~14年)を終えた15年以降も世界各地のRCEが中心となり、ESD活動を推進するとして「RCE岡山宣言」を全体会で採択した。

岡山市の取り組み表彰

宣言は「ESDの10年」導的な役割を果たすことを導き、3日間の議論を経て取り決めを進めることと強調。学術機関の整った岡山大学や、活動の一端の推進などに貢献した、世界各地のRCEが主眼。全体会は岡山コンベンションセンター(岡山市北区新)で採択された。

表彰は「ESDの10年」導的な役割を果たすことを導き、3日間の議論を経て取り決めを進めることと強調。学術機関の整った岡山大学や、活動の一端の推進などに貢献した、世界各地のRCEが主眼。全体会は岡山コンベンションセンター(岡山市北区新)で採択された。

岡山市の取り組みが表彰された。岡山大学が世界のRCEとして地域の中心から模範事例を発表する「RCEモデル」の発表もあり、公益財団法人岡山県ESD推進センターが市全体でESD活動を推進してきた岡山市の取り組みが表彰された。

この日は18、19歳のESD実践者10人が発表交際する「ユネスコ・コンフレックス」も岡山国際交流センター(岡山市東区)で開かれ、国連教育科学文化機関(ユネスコ)のイリナ・ボコバ事務局長が「ESDを進めていくには若い皆さんのアイデアが必要。自らの力で活動の前に進めてほしい」と呼び掛けた。

32カ国の高校生らによるユネスコスキル世界大会は7日の議論に入り、持続可能な社会を目指すために高校生がすべきことについて意見交換した。午後には宣言文を採択。各会議の宣言は、名古屋で10、11日に開かれる世界会議の全体会合化して採択される。

(大森 厚 原本洋輔)

来年以降も活動推進



ESD
考えよう
地球の未来

サイドイベント
岡山市生会議に先立ち「ESD」(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議のサイドイベントとして、市内の小中学校によるESDの事例発表が7日、且佐郡元町の岡山コンベンションセンターであった。小瀬小、第二藤田小、藤田小、岡山中の児童生徒が環境保全や経済格差などテーマにしたESDの実践例を世界会議の出発点に紹介した。(1面掲載)

小中学生が実践例紹介

環境保全や経済格差などテーマにしたESDの実践例を世界会議の出発点に紹介した。

環境保全や経済格差

岡山市立小瀬小学校の児童が、環境保全や経済格差などテーマにしたESDの実践例を世界会議の出発点に紹介した。

今後10年の仕組み重要

「持続可能な開発のための教育(ESD)」の世界会議は、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17番目の目標である。

グローバルRCE会議
市長発言要旨

岡山市長は、持続可能な開発のための教育(ESD)の世界会議に先立ち、岡山コンベンションセンターで開かれたグローバルRCE会議に出席し、発言した。

平成26年11月8日
山陽新聞

大森市長(右)と会談するボコバ事務局長(左)

岡山モデル「心強い」

ユネスコ事務局長、市長と会談、評価

岡山モデルは、持続可能な開発のための教育(ESD)の世界会議に出発するにあたり、岡山市が取り組んでいるESDの実践例が、ユネスコ事務局長から高く評価された。

岡山市長は、持続可能な開発のための教育(ESD)の世界会議に出発するにあたり、岡山市が取り組んでいるESDの実践例が、ユネスコ事務局長から高く評価された。

平成26年11月8日
山陽新聞

岡山・ユネスコスクール会議

世界の高校生が宣言文

「持続可能な開発のための教育(ESD)」の世界会議に先立ち、岡山市で開かれたユネスコスクール会議で、世界の高校生が宣言文を発表した。

岡山市長は、持続可能な開発のための教育(ESD)の世界会議に先立ち、岡山市が取り組んでいるESDの実践例が、ユネスコ事務局長から高く評価された。

岡山市長は、持続可能な開発のための教育(ESD)の世界会議に先立ち、岡山市が取り組んでいるESDの実践例が、ユネスコ事務局長から高く評価された。

平成26年11月8日
読売新聞

平成26年11月12日
山陽新聞



パネル展示やミニおまつりの配布などが行われている岡山市のブースを撮影

名古屋の世界会議 サイドイベント出展

名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）で開催されている「ESD（持続可能な開発のための教育）に関するユネスコ世界会議」のサイドイベントに、岡山市の取り組みをPRするブースが登場し、会議出席者らが次々と訪れている。（34面関連）

岡山の取り組みPR

出席者ら 公民館活動に感心

出席者ら 公民館活動に感心
ブースは名古屋市内で、世界会議の成果を踏まえ、10月27日〜28日、名古屋市内での会議（名古屋）が開催され、市と市内の各施設が関係していることをパネルで紹介している。



大学、経済団体の代表らでつくる岡山支援実行委員会が主催し、公明党岡山市支部、市民会館を拠点に市全域でESD活動が進められていること、10月11日に市内で開催された世界会議のブースを撮影している。

にある公民館を拠点にESDを進めるのは良いアイデアだ」と感心していた。

「文化継承素晴らしい」
大学教授ら小中高視察
世界会議全ての日程終了



国際会議の出席者（左奥手前）の前で話を披露する三軒小の学生

の小中高校の視察などを行い、開幕した。10月に始まった国際世界会議は全ての日程を終えた。国際会議は14日から、大学教授らがESDの視察を行った。三軒小は伝統文化の継承をテーマにしている。

1年生の授業では、岡家に教わりながら日本や世界の文化を体験。米国の大学教授ハリス・テリーサさん（80）は「素晴らしい日本の文化が世界の子供たちが引き継いでいるのは素晴らしい。持続可能な社会づくりにつながる活動だ」と話した。

平成26年11月18日
山陽新聞

ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会 公式記録
発行日 平成27年3月
編集・発行 ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会
※本書の無断転載・複写を禁じます。